《研究課題名》
上行置換術を基本術式とした Stanford A 型急性大動脈解離に対する手術成績

《研究対象者》
西暦 2010 年 1 月 1 日より 2025 年 12 月 31 日までに滋賀医科大学心臓血管外科において Stanford A 型急性大動脈解離に対して手術を施行された方

研究協力のお願い
滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保管している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2031 年 10 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学　心臓血管外科　鉢呂康平

（２）研究の意義、目的について
《意義》
Stanford A 型急性大動脈解離は放置すれば発症後 48 時間以内に 50%以上が死亡します。手術を行ったとしても院内死亡率は約 20%と言われており、非常に致命的な疾患です。手術は上行大動脈のみを人工血管に置換する上行置換術と、上行大動脈と弓部大動脈を同時に人工血管に置換する弓部置換術があります。当院では Stanford A 型急性大動脈解離に対しては上行置換術を行うことを基本術式としていますが、どちらの術式が優れているかははっきりしていません。

《目的》
Stanford A 型急性大動脈解離に対して手術を施行された患者において、上行置換術を施行された群と弓部置換術を施行された群に分けて術後の短期成績と長期成績を比較し、どちらの術式が優れているかを調べます。

（３）研究の方法について
《研究の内容》
当院で管理している電子カルテから患者の情報を調べ、統計学的処理を行います。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

術前の年齢・性別・BMI・高血圧の有無・脂質異常症の有無・糖尿病の有無、手術時間・人工心肺時間、術後脳梗塞の有無・術後急性腎障害の有無・術後 30 日死亡、全死亡

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学　学長　遠山育夫

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　心臓血管外科　鉢呂康平
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2241
メールアドレス：hachiro@belle.shiga-med.ac.jp

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.